

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

令和7年度全国学力・学習状況調査の平均正答率において、国語科では6.8ポイント、算数では6.0ポイント、理科では6.1ポイント全国平均を下回っていた。児童質問紙調査では、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくださいませんか」について肯定的な回答が全国平均を上回っていた。一方、「自分には、よいところがあると思いますか」「人が困っているときは、すすんで助けていますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか」について肯定的な回答が全国平均を下回っていた。令和7年度に引き続き、自己有用感や自己肯定感、教職員や身近な大人との安心できる関係づくりが求められる。学力については全般的な課題が認められ、特に数的思考力や判断力を身につけ日常生活に活用する力の育成が求められる。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%にする。
- ② 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- ① 小学校学力経年調査におけるボリュームゾーンにあたる層の変化率(算数)を1.0%にする。
- ② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自身の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%にする。
- ② 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間20時間以下にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査におけるボリュウムゾーンにあたる層の変化率(算数)を0.3%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自身の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
- ② 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間40時間以下にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立歌島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ② 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ③ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 ・「いじめ・いのちについて考える日」を含む一週間に、全校児童間のいいところ探しを行う「ふれ合い、ほめ合い、たすけ合い運動」を実施し、翌週にいじめアンケートを実施する。 ・児童会活動において学校生活のルールへの周知や定期的な点検を行い、安心安全な学校風土を醸成していく。	
指標① 校内アンケート(児童)の「学校は楽しいですか」「自分の学級は楽しいですか」に肯定的に回答する児童の割合をそれぞれ全学年90%以上にする。 指標② 校内アンケート(児童)の「学校や学級のきまりを守っていますか」に肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 ・「傾聴週間」を学期に一回実施し、期間内(1週間)は会議等の予定を入れず学習室等も活用し、担任と児童のふれ合う機会を確保する。面談メモはデータで蓄積し、内容によってはSCの面談や外部関係機関と連携する。	
指標① 校内アンケート(児童)の「困ったとき、先生や友達に相談していますか」に肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ・全校児童間のいいところ探しを行う「ふれ合い、ほめ合い、たすけ合い運動」を実施し、児童のメッセージカードを校内に掲示する。 ・学級活動や児童会活動において自己肯定感や自己有用感を高めるための一人一人の役割意識や達成感を味わわせる。特別の教科道徳においてルールへの大切さや自律心の育成、互いを尊重する豊かな心を醸成していく。	

指標① 校内アンケート（児童）の「自分にはよいところがあると思いますか」「友だちを大切にしていますか」に肯定的に回答する児童の割合をそれぞれ 90%以上にする。

指標② 校内アンケート（児童）の「学校や学級のきまりを守っていますか」「たてわり班で活動するのは楽しいですか」に肯定的に回答する児童の割合を、それぞれ 90%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## 大阪市立歌島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>① 小学校学力経年調査におけるボリュームゾーンにあたる層の変化率(算数)を0.3%以上にする。</p> <p>② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自身の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数科を研究教科に定め、全教員が算数科の研究と授業実践を行う。</li> <li>本市事業の学びサポーター(国・算)を活用し、2年生および3年生へのサポートを行う。</li> </ul> <p>指標① 授業を担当する全教員を対象に、一人一回の校内研究授業を行う。担任は算数科の研究授業を行う。</p> <p>指標② 校内アンケート(児童)の「勉強はわかりますか」に肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数科の授業研究を通して、話し合う活動を通じた考えの深め合い、新たな気づきや発見を楽しむ授業展開を推進する。</li> <li>読書に親しみ、図書館の利用率を高めるため、週予定の中に「読書タイム」を設ける。また、図書館を活用した「折り紙教室」などのボランティア活動を推進する。</li> </ul> <p>指標① 校内アンケート(児童)の「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>指標② 校内アンケート(児童)の「読書は好きですか」に肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい生活習慣の大切さや食育について、ゲストティーチャーによる出前授業の実施や、生活習慣の振り返りを定期的にチェックすることで実践的意欲を高める。</li> </ul>	

指標① 振り返りチェックによる実行率を10%以上高める。 指標② 校内アンケート（児童）の「早寝早起きをしていますか」「外で元気よく遊んでいますか」に肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	
---	--

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
-------------------------	--

次年度への改善点	
----------	--

(様式2)

大阪市立歌島小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。 ② 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間40時間以下にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6、教育DX】 ・学習者用端末の使用ルールを明確にし、情報モラルを身につけられるようにする。	
指標① 校内アンケート(児童)の「日々の学校生活の中で学習者用パソコンを活用していますか」に肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・業務のスリム化をさらに推進するとともに、校務に支障のない範囲でのテレワークの活用を積極的に推進する。	
指標① テレワークの実績を全職員が年間10日以上にする。 指標② 毎月の時間外勤務時間40時間を超える職員を3名以下にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

**留意事項**

提出するときは、様式2とします。(様式例2)

- ※太枠は、年度当初に「運営に関する計画」として記述する部分
- ※それ以外は、年度末(中間)に学校園の「自己評価」として記述する部分

大阪市立〇〇小学校 令和〇〇年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	目標の達成状況を4段階で総合的に評価します。中間評価では、評価できる場合のみ、評価します。	達成状況
【3つの最重要目標】 ○	・総括シートの「年度目標」を転記してください。 ・関連する複数の年度目標をまとめて記載してもさしつかえありません。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①	・年度目標の達成に向け、当該年度で「何に、どのように取り組むのか」を記述します。 ・取組内容欄に、教育振興基本計画の「基本的な方向」に示す番号と名称を記入します。 ・取組は重点的に取り組むものから記述し、優先順位がわかるようにします。	A

取組内容②	・この取組は当該年度で「どれだけ取り組むのか」について記述します。 ・「どれだけ」は、回数や頻度、人数など具体的に記述します。	進捗状況
-------	--	------

実施計画や年間計画どおり等と記述する場合は、必ずその実施計画や年間計画等を添付すること。	進捗状況	取組ごとの進捗状況を4段階でそれぞれ評価します。中間評価では、評価できる取組内容のみ、評価します。
--	------	---

【年度目標】について ○	・まず、年度目標の達成状況を数値などにより具体的に記述します。 ・次に、取組の進捗状況を具体的に記述し、取組の成果や実施上の課題などについて記述します。
-----------------	---

次年度への改善点	
【目標設定】について ○	・まず、年度目標のうち未達成のものについて、次年度はどのように取り組むのか記述します。 ・次に、課題のあった取組ごとに、課題に対する改善点や方策を記述します。

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：
• • • •

3 今後の学校園の運営についての意見

--

**留意事項**

提出するときは、様式3とします。(様式例3)

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 ○○小学校 学校協議会

1 総括についての評価

総括シート「本年度の自己評価結果の総括」が妥当かどうかや、その内容に対する学校協議会の意見などを記述します。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：  
①  
②  
○

目標別シートごとに、「達成状況」や「進捗状況」の評価が妥当かどうかや、「結果と分析」欄や「次年度への改善点」欄の内容に対する学校協議会の意見を記述します。

年度目標：  
  
●  
●  
●  
●

3 今後の学校運営についての意見

○

次年度以降の学校運営はどうあるべきかなど、今後の学校運営全般に対する学校協議会の意見を記述します。

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。